

バリアフリー教室の開催状況等について (関東運輸局における取組)

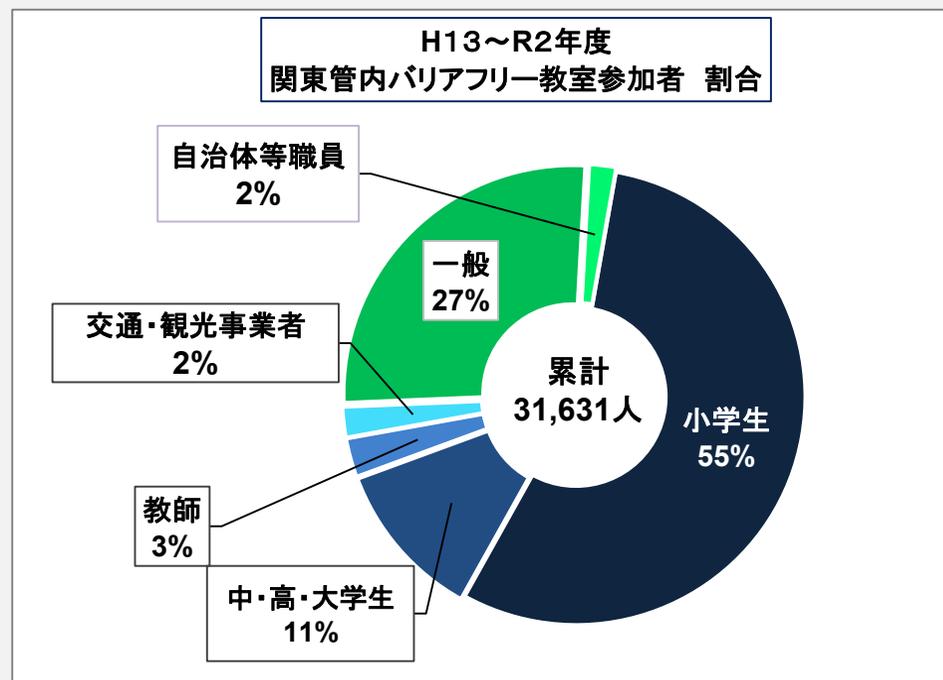
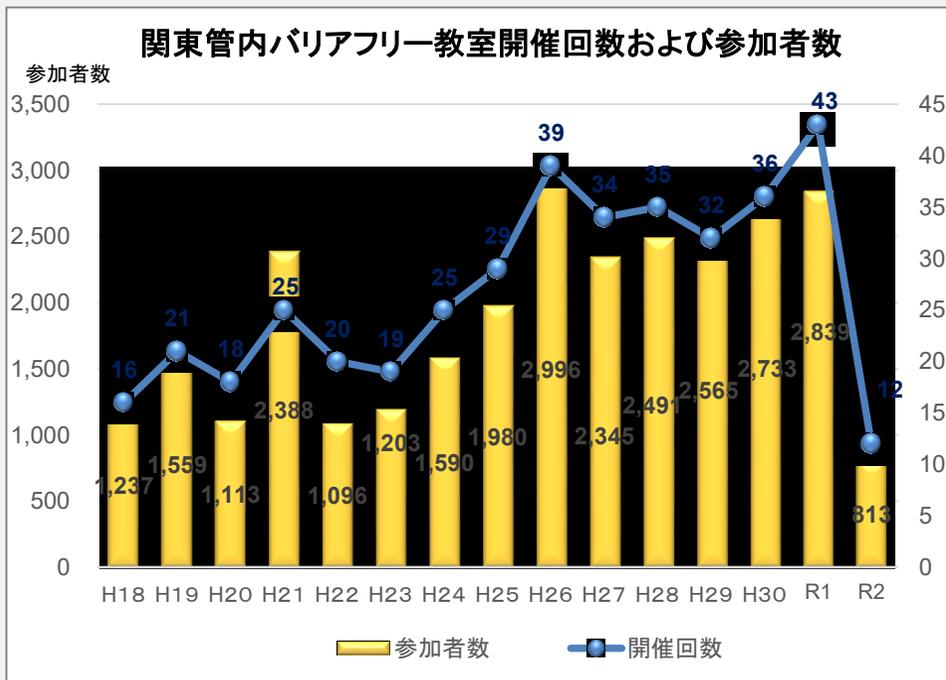
心のバリアフリーの推進、バリアフリー教室の開催

「心のバリアフリーの推進（バリアフリー化の促進に関する国民の理解・協力の推進等）」

高齢者や障害者等、移動に様々な困難を抱える方が、安心して公共交通機関等を利用し、自立した社会生活を送ることができる環境づくりの一環として、快く手助けをできる「心のバリアフリー」社会の実現を目指す。

<高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律：（国の責務：第4条第2項、国民の責務：第7条）>

【令和2年3月末 現在】



平成13年度より、局・管内支局において、小・中・高・大学生、教師、一般を対象に実施。



駅での車いす体験



高齢者疑似体験



ツーステップバスでの視覚障害者疑似体験



福祉タクシーで車いす体験

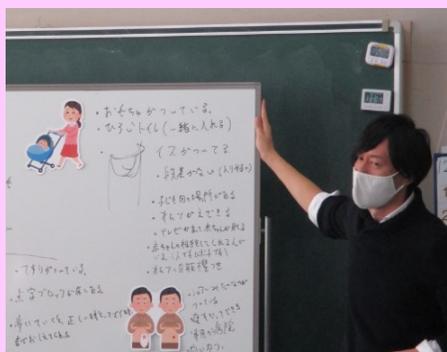
令和2年度 バリアフリー教室開催一覧

主催	開催場所	対象	参加人数	開催日
東京運輸支局 (1回)	江戸川区立北小岩小学校	小学4年生	70	R2.10.14
神奈川運輸支局 (6回)	横浜市立柏尾小学校	小学4年生	98	R2.12. 1
	横浜市立矢部小学校	小学5年生	123	R2.12. 8
	横浜市立旭小学校	小学4年生	138	R2.12.15
	横浜市立伊勢山小学校	小学4年生	49	R3. 1.12
	横浜市立桂小学校	小学4年生	74	R3. 1.20
山梨運輸支局 (5回)	横浜市立綱島小学校	小学4年生	109	R3. 2.19
	山中湖村立山中小学校	小学4年生	15	R2. 6. 8
	笛吹市立一宮北小学校	小学4年生	12	R2.11.17
	笛吹市立一宮南小学校	小学3・4年生	22	R2.11.19
	富士吉田市立下吉田第一小学校	小学4年生	13	R3. 2. 9
昭和町立常永小学校	小学4年生	90	R3. 2.17	
合計	年間実施12回		813	

バリアフリー教室の様子



日本トイレ研究所による トイレマナーの講習 (横浜市内小学校)



■参加者の感想

- 体の不自由な人のために色々な工夫がされていることがわかった。
- トイレのマナーを守って、体の不自由な人に多機能トイレを譲りたい。

全視協の当事者による 視覚障害の疑似体験学習 (江戸川区内小学校)



■参加者の感想

- どうサポートすればいいのかがよくわかり、実際に手助けする勇気が出た。
- 目が見えなくて怖かったけど、点字や付き添いの人がいて少し安心できた。

横浜市都市交通課と連携 した交通バリアフリー講座 (横浜市内小学校)



■参加者の感想

- タクシーやバス、電車のバリアフリーの工夫が、クイズで楽しく学べた。

NHK WEB NEWS に掲載 (山梨県内小学校)

NHK NEWS WEB 2021年10月

山梨 NEWS WEB

小学生バリアフリー体験 昭和町

02月17日 15時30分

子どもたちにバリアフリーへの理解を深めてもらおうという教室が、昭和町で開かれました。

この教室は、関東運輸局山梨運輸支局やタクシー会社などの関係団体が、高齢者や体の不自由な人を支え合う社会を実現しようと、要望があった小学校などを訪れて開いています。

17日は、昭和町の常永小学校で開かれ、4年生90人が参加しました。

子どもたちは4つのグループに分かれ、このうち体育館では車いすで安全に段差を乗り越える押し方を学んだり、白い杖と介助役の子どもの声だけを頼りに、目隠しをして点字ブロックや段差を歩くなどのさまざまな体験をしました。

また、駐車場では、車いすのまま乗れるように設計されたバスやタクシーに、車いすを押す役と乗る役に分かれて、実際に乗り降りする体験もしていました。

参加した女子児童は「車いすに乗っている人を見つけたいなら、慎重に介助しなければいけないと分かった。町で車いすに乗っている人を見かけたときは、声をかけて助けたい」と話していました。

また、別の男子児童は「車いすに乗ったままタクシーから降りるときが怖かった。車いすに乗っている人は、いろいろな苦労があることが分かった」と話していました。

バリアフリー教室 個別事例①

[開催概要]

- 日時: 令和3年6月22日(火)、7月13日(火)両日とも15:20~17:20
- 場所: 東京家政大学
- 参加者: 人文学部教育福祉学科学生 6月:20名、7月:18名
- 主催: 東京運輸支局
- 協力: 国際興業株式会社、自立生活センター・北

- 20 (分) ①オリエンテーション
 ・参加者紹介 ・注意事項(詳細は体験毎)
 ②場所移動後に機材説明
 ・車いすの開き方、折りたたみ方、操作方法の説明(自立生活センター・北)

10 休憩・水分補給・移動

	A班(8名)	B班(6名)	C班(6名)
20	車イス体験 2名1組 @車いす×4 ・障害者トイレ利用 ・坂道走行 ・段差体験 ・買い物体験	白杖・アイマスク体験 2名1組 @白杖・アイマスク×4 ・白杖使用方法と介助方法の説明 ・構内施設間の歩行体験と介助体験(往復。施設端において交代) ・点字ブロック利用	ノンステップバス乗降体験 2名1組 @車いす×4 ・バスの機能説明 ・ニーリング体験 ・車いすでのバスの乗降体験

10 休憩・水分補給・移動

20	白杖・アイマスク体験 2名1組 @白杖・アイマスク×4	ノンステップバス乗降体験 2名1組 @車いす×4	車イス体験 2名1組 @車いす×4
----	---------------------------------------	------------------------------------	-----------------------------

10 休憩・水分補給・移動

20	ノンステップバス乗降体験 2名1組 @車いす×4	車イス体験 2名1組 @車いす×4	白杖・アイマスク体験 2名1組 @白杖・アイマスク×4
----	------------------------------------	-----------------------------	---------------------------------------

- 10 **まとめ**
 ・質疑応答など ・総評(自立生活センター・北、国際興業株式会社)

※上記終了後、大学側にて調整し、生徒と障害当事者の方々との意見交換や交流時間あり。

[プログラム]

- オリエンテーション
- ・車いすの操作方法の説明等
- 体験学習
- ・車いす体験(走行体験、ノンステップバスの乗降体験等)
- ・視覚障がい者擬似体験、介助体験



[協力団体・講師の確保]

国際興業株式会社: 支局より依頼
 自立生活センター・北: 大学より依頼

[参加者の感想]

- ・介助する側とされる側どちらも体験し、声のかけあいや信頼の大切さを実感した。
- ・バスの車いす乗降の介助が難しかった。スムーズにできる運転手の方に感動した。
- ・日常生活には様々なバリアがあることを改めて感じた。
- ・車いすで大学構内をまわり、実は大きな障壁があることがわかり驚いた。
- ・当事者の意見も伺うことができ、介助するにはどのようなことを考慮すべきか学ぶことができた。
- ・日常にあるバリアフリーの工夫に気付くことができた。

バリアフリー教室 個別事例②

[開催概要]

- 日時: 令和2年10月14日(水) (9:15~11:10)
- 場所: 江戸川区立北小岩小学校
- 参加者: 小学4年生: 70名
- 主催: 東京運輸支局
- 協力: 京成バス株式会社、一般社団法人 全日本視覚障害者協議会

20 (分)	オリエンテーション ・参加者紹介 ・注意事項(白杖及びアイマスクの取扱いについての概要は全視協より、詳細は体験毎)			
5	休憩・水分補給・移動			
	A班(18名)	B班(18名)	C班(18名)	D班(16名)
20	ノンステップバス(中扉)乗降体験 2名1組 @車いす×2 ・バスの機能説明 ・車いすによる車両乗降体験	ノンステップバス(前扉)乗降体験 2名1組 @白杖×2 ・アイマスク×9 ・乗降及び座席誘導方法の説明	白杖・アイマスク体験 2名1組 @白杖・アイマスク×9 ・白杖使用方法と介助方法の説明	高齢者疑似体験 2名1組 @高齢者体験キット×8 ・歩行、見え方、軽手作業の確認
5	休憩・水分補給・移動			
20	ノンステップバス(前扉)乗降体験 2名1組	白杖・アイマスク体験 2名1組	高齢者疑似体験 2名1組	ノンステップバス(中扉)乗降体験 2名1組 @車いす×2
5	休憩・水分補給・移動			
20	白杖・アイマスク体験 2名1組	高齢者疑似体験 2名1組	ノンステップバス(中扉)乗降体験 2名1組 @車いす×2	ノンステップバス(前扉)乗降体験 2名1組
5	休憩・水分補給・移動			
20	高齢者疑似体験 2名1組	ノンステップバス(中扉)乗降体験 2名1組 @車いす×2	ノンステップバス(前扉)乗降体験 2名1組	白杖・アイマスク体験 2名1組
10	まとめ ・質疑応答など ・総評(京成バス、全視協)			

[プログラム]

- オリエンテーション
 - ・児童への実施内容説明、注意事項等
- 体験学習
 - ・車いす利用体験(ノンステップバスの乗降体験)
 - ・視覚障がい者の疑似体験・介助体験(平地及びノンステップバスの乗降体験)
 - ・高齢者疑似体験(平地及び階段乗降体験)



[協力団体・講師の確保]

京成バス株式会社: 東京都バス協会の紹介で支局より依頼
 一般社団法人 全日本視覚障害者協議会: 別会議で繋がりのある本局が支局へ紹介し 支局より依頼

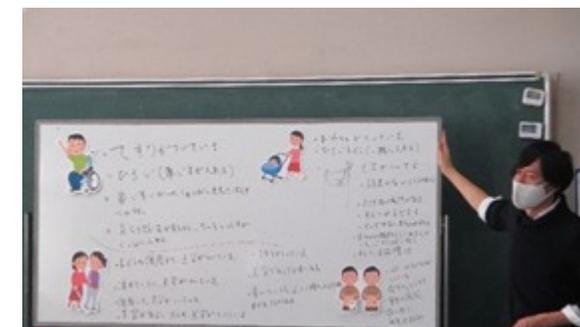
[参加者の感想]

- ・車いすでバスから降りるのが怖かった。
- ・目が見えない人は歩くのが大変だけでなく、手話などを覚えられないので大変だと思った。
- ・目が見えなくて怖かったけど、点字や付き添いの人がいって少し安心できた。
- ・どうサポートすればいいのかがよくわかり、実際に手助けする勇気が出た。
- ・車いすを押している側も乗っている人に対して気を遣うことがわかった。
- ・バスにもいろんな工夫がされているんだとわかった。

バリアフリー教室 個別事例③

[開催概要]

- 日時: 令和2年12月8日(火) 9:00~11:45
- 場所: 横浜市立矢部小学校
- 参加者: 4年生、123名
- 主催: 神奈川運輸支局
- 協力: 一般社団法人 神奈川県タクシー協会、株式会社 グリーンキャブ、NPO法人 日本トイレ研究所



10 (分)	オリエンテーション 校庭 ・参加者紹介 ・注意事項(詳細は体験毎)		
	1班(41名)	2班(41名)	3班(41名)
45	車いす体験 場所: 体育館 物品: 車いす×2、カラーコーン、マット等の体育用具 概要: ・車いすの乗り方の説明 ・車いすの乗車体験(介助役/車いす役のペアで体験)	UDタクシー体験 場所: 校庭 物品: UDタクシー2台、車いす×2、カラーコーン 概要: ・UDタクシー機能説明と見学 ・UDタクシーの工夫について説明 ・乗降の様子を見学 ・車いすの乗降体験(介助役/車いす役のペアで体験)	トイレマナー講習会 場所: 教室 物品: 教室のモニター、PC(データは事前にメール送付)、ホワイトボード 概要: ・NPO法人日本トイレ研究所よりトイレマナーの啓発 ・会場と教室との移動時間、生徒の休憩時間を含む。(講義30分、休憩+移動15分)
5	休憩・水分補給・移動		
45	トイレマナー講習会 場所: 教室	車いす体験 場所: 体育館	UDタクシー体験 場所: 校庭
5	休憩・水分補給・移動		
45	UDタクシー体験 場所: 校庭	トイレマナー講習会 場所: 教室	車いす体験 場所: 体育館
10	まとめ ・質疑応答、生徒代表による感想発表 ・挨拶		

[プログラム]

- オリエンテーション
- ・車いすの操作方法の説明等
- 体験学習
- ・車いす体験(走行体験、UDタクシーの乗降体験等)
- トイレマナー講習会
- ・トイレマナーの啓発

[協力団体・講師の確保]

一般社団法人 神奈川県タクシー協会: 支局より依頼
 (株)グリーンキャブ: 一般社団法人 神奈川県タクシー協会より依頼
 NPO法人 日本トイレ研究所: 本省から事前挨拶の上 本局より依頼

[参加者の感想]

- ・車いすの介助が意外に大変で驚いた。未来でやることがあったら全力で頑張りたい!
- ・少し押す向きを変えるのが難しかった。段差の時は重くて大変だった。
- ・UDタクシーが広いので、車いすでも乗りやすかったです。
- ・多機能トイレが少ししかなくてそのことについては少し不便かなと思いました。また、どこにあるのか探してみたいです。
- ・多機能トイレを知らなかったのが今回詳しく知れて障害者のためにいろいろな工夫をしていることも知れてよかったです。

○直近の課題や困りごと、実施において工夫している点など

①時間的制約がある中において

- ・学校要望の体験メニュー実施と、障害当事者との交流時間確保のバランス

- ―学校側の要望

- 高学年向けの体験では、多くは90分～100分程度を希望

- 低学年が含まれる体験では、更に短い時間(60分程度)を希望

- 生徒には障害者側と介助者側の両方を体験させたい

- 参加人数によりタイムスケジュールギリギリの状況であり、

- どの体験を優先し、何を削り置き換えるか、又は別機会を設けられないかの調整

- ・基本的な感染症対策への対応、介助方法

- ―三密回避、肌接触を避ける、機材消毒においても短時間となるよう工夫

②これまでの感染症による経済的影響から、交通事業者の継続参画が厳しい状況

- ―運輸局としては公共交通利用促進の側面からも、引き続き交通事業者の参画協力をお願いするところ、地域特性により困難な状況もあり

③機材類不足時の融通調整や、運営スタッフ不足時の調整

- ―特に、スタッフについて本局等から応援派遣出来ない時の対応